単元名	内容のまとまり
生活習慣病などの予防	第2学年(1)健康な生活と疾病の予防

## 単元の目標

- (1) 【知識及び技能】
  - ・健康の保持増進には、年齢、生活環境等に応じた食事、運動、休養及び睡眠の調和のとれた生活を続ける必要があること。また、食事の量や質の偏り、運動不足、休養や睡眠の不足などの生活習慣の乱れは、生活習慣病などの要因となることを理解する。
- (2) 【思考力、判断力、表現力等】
  - ・健康な生活と疾病に関わる事象や情報から、課題を発見し、疾病のリスクを軽減したり生活の質を高めたりすることなどと関連付け、解決方法を考え、適切な方法を選択し、それらを伝え合うことができるようにする。
- (3) 【学びに向かう力】
  - ・生活習慣病などの予防について、自他の健康の保持増進や回復について、学習に自主的に取り組むことができるようにする。

	知識•技能	思考•判断•表現	主体的に学習に取り組む態度
単元の評価規準	①生活であること、まや睡切なにたりとなった、食事である。と、まや睡切なにたり、食事の量が変にないのであり、体であるり、体であるり、体であるり、体であるり、体であるり、体であるり、体であるり、体であるり、体であるり、体であるり、体であるり、体であるり、体であるり、体であるり、体であるり、体であるり、ないでは、ないのでは、ないがの血肉になどがの血肉によったががの血肉には、たいがの血肉には、たいが、引きで、は、大き、は、大き、は、大き、は、大き、は、大き、は、大き、は、大き、は、	①生活では、 生活では、 は、で、 は、で、 は、で、 は、で、 は、で、 は、で、 は、で、 は、で、で、 は、で、 は、で、 は、で、 は、で、 は、で、 は、で、 は、で、 は、で、 は、で、 は、で、 に、で、 で、 に、で、 で、 に、で、 で、 に、で、 で、 に、で、 で、 に、で、 で、 に、で、 で、 に、で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、	①生活習慣病などの予防と健康に関心を持ち、課題の解決に向けた学習に自主的に取り組もうとしている。

	指導と評価の計画(全4時間)				
時間	ねらい・学習活動	知	部	能	評価方法
1 ※ 本 時	○ 生活習慣病を引き起こす要因について理解する。	1			学習カード・ワークシート等
2	○ 生活習慣の不足によって引き起こされる様々な病気について理解する。 ※専門家(保健師)による講義「B町のがんの罹患の実際と生活習慣病について」	2	$\odot$		学習カード・ワークシート等
3	○ 生活習慣病の予防について理解する。	3	2		学習カード・ワークシート等
4	<ul><li>1 がんという病気と、その発症の要因について理解する。</li><li>2 がんの予防について理解する。</li></ul>	4	3	1	学習カード・ワークシート等

## 本時の指導案(1/4時間) 本時の目標 ○ より良い生活習慣やがん検診が、がんを予防するのに有効な手段であることを理解する。 【知識及び技能】 ○ がんについて正しく理解し、予防のために自分ができることを考える。【思考力、判断力、表現力等】 段 学習 教師の指導と支援(◆評価規準と方法) 学習内容と学習活動 階 形態 ○ がんについて知っていることを自由に発表させる。 1 本時の学習内容について確認する。 全体 ○ がんについて知っていることをあげる。 ※がんに関する内容を扱うにあたって、生徒への配 (例)・こわい ・治らない ・苦しい ・死んでしまう ・痛い ・長い入院 慮を行う。 導入 ○ がんについて、知りたいことをあげる。 ○ がんは身近な病気であることを意識させ、詳し 全体 がんはどんな病気なのか く知りたいなど興味をもたせることができるよう ・みんながんになるのか にする。 どうすれば予防できるのか 【学習課題】 がんについて正しく理解し、どのように予防するとよいか考えよう。

展開	2 がんについての理解を深める。 ○ 健康な体がどうなることを「がん」というのか理解する。 ・細胞が変異し、それが修復できなくなる病気 ○ がんの原因は何か考える。 ・たばこ・・酒 ・肥満 (主な3つの原因) ・細菌、ウイルス ・生活習慣 ・遺めにできることを知る。 ○ がんにならないためのできることを知る。 ○ おんになら何ののはいたがら気をついたがある。 ・ 3つのれるいできるととの原因があらりた。 ・ 3でのような生活を必ずるとよいか考える。 ・ たばこを吸わなどる。 ・ たばこを吸わなどる。 ・ たばこを吸わなどする 4 がん関連する 4 がん関連するのがに関しているが、のような対応ではどのような対応ではどのようながに関しているが、のようなが、のようなが、のような対に関しているが、のような対に関しているが、のような対応できるという。 ○ 検査をの結果、早期にがんが発見できるという5%	一斉	※個別に配慮する生徒を確認しておく。  ○[モジュール1]スライド1~6を用いて、がんのしくみを説明し、感じたこと等をノートに記入させ、発表させる。  ○がんの原因について、思いつくものを自由に発表させる。  ○[モジュール4]スライド1~5を用いてがんの要因には様々なものがあることを理解できるようにする。  ○自由に考えさせた後、ノートに記入し、グループで話し合い発表させる。  ○細菌を防いだり遺伝はどうすることもできないが、生活習慣は変えられることを押さえる。  ○発表後、[モジュール4]スライド6~11を用いて、望ましい生活習慣が大切であることを理解させる。  ○[モジュール5]スライド6~7を用いて、がん検診の受診率が低いことを伝える。  ○[モジュール5]スライド1~5を用いて、検診による早期発見が治癒率を高くしていることを知らせ、定期的な検診の必要性を理解させる。
まとめ	<ul><li>5 本時の学習についてまとめる。</li><li>●授業を通してわかったことや感じたことは何か</li><li>・自分の考えや感想、外部講師への謝辞を含め発表する</li></ul>	一斉	<ul><li>○本時の学習の感想を書き、発表させる。</li><li>○発表を聞くことで、自身の考えを深めさせる。</li><li>◆がんについて正しく理解し、予防のために自分ができることを考えたり、選択したりしている。</li><li>【思考力、判断力、表現力等】</li></ul>

## 工夫のポイント

・身近なこととして感じられるように、体験談を交えて授業を行う。(生徒自身の体験ではなく、教材にあるような事例を)

評価方法:学習カード・ワークシート

・生活習慣を防ぐための具体的な行動を生徒に考えさせ、発表、交流することで、主体的、対話的な深い学びに つなげる。